

四日市市政記者クラブ各位

令和7年10月〇〇日四日市市記者発表資料	
問い合わせ先	
四日市市立富洲原中学校	
担当者	
電話	059-365-4158
Eメール	

【四日市市文化課とくるべ古代歴史館とのコラボレーション】 富洲原中学校1年生が聖武天皇の国づくりについて考える授業

記

1. 開催日時

- ① 令和7年10月15日（水）10時50分から12時40分 文化課出前授業
- ② 令和7年10月22日（水）9時30分から11時00分 フィールドワーク
- ③ 令和7年11月26日（水）11時50分から12時40分 公開授業研究会
- ④ 令和7年12月9日（火）10時50分から12時40分 学習課題発表会

2. 開催場所

- ①③④ 四日市市立富洲原中学校
（四日市市天カ須賀5丁目3-10）
- ② 久留倍官衙遺跡公園・くるべ古代歴史館
（四日市市大矢知町2323-1）

3. 取り組み概要

本校1年生の社会科歴史的分野において、四日市市内から出土した土器を中心とする遺物を見たり手に取ったりする活動や、久留倍官衙遺跡公園・くるべ古代歴史館でのフィールドワークを通して朝明郡の歴史的な歩みや聖武天皇との関わりを考えます。

「久留倍官衙遺跡公園・くるべ古代歴史館と聖武天皇との関わり」という学習課題をグループ毎に作成し、5分の発表時間を通して文化課の方に発表し講評をいただきます。

③は令和7年度東海地区社会科研究協議会の公開授業研究会を兼ね、文部科学省より磯山恭子調査官をお招きし、午後の全体会にてご講演いただきます。

4. 参加者 富洲原中学校1年生66人、教職員4人

5. 趣 旨

四日市市新教育プログラム「四日市ならではの地域資源活用プログラム（柱6）」の一環として、四日市の歴史資源を活用した歴史学習を展開します。

「社会的な見方・考え方を働かせ、学ぶ力を育てる授業」をテーマに、単元構想の工夫と、指導と評価の一体化を提案する歴史的分野の授業です。

以上